

がん医療のこれから

チームであなたを支えます

チーム医療で支え続ける

「がん医療のこれからチームであなたを支えます」のコラムも今回で最終回になります。これまで本紙でがん治療認定医、がん化学療法看護認定看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカー、管理栄養士が、それぞれの立場からチーム医療についてお伝えしました。

さらに、今年度は、がん化学療法チームが主体となって、「がんの時代を生きる」をテーマとした市民公開講座を3回開催することができました。これらの取り組みは病院の業務ではなく、現場で

日々医療を支えているメンバーの「よりよい医療を届けたい」という熱い思いが結集して実現できたことです。

本日のチーム医療は、現場で各種専門職に対等の横のつながりがしっかり形成されて初めて機能するものです。現場から生まれた今回の企画は、まさに真のチーム医療を提供するための道のりだったのではないかと思います。

当院では、この先もがん化学療法チームで患者さんをしっかりと支え続けていきますので、安心して受診してください。

※今月でこのコーナーは終了します。



消化器内科医師

金戸 宏行 さん

札幌市出身。51歳。札幌医科大学卒業。平成13年から市立室蘭総合病院に勤務し、同28年から院長。日本内科学会総合内科専門医、日本消化器病学会指導医、日本消化器内視鏡学会指導医、日本肝臓学会専門医、日本がん治療認定医。